

工業団地整備事業特別会計

平成29年度小郡市工業団地整備事業特別会計決算に係る主要施策報告書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定により、平成29年度小郡市工業団地整備事業特別会計決算に係る主要施策の成果を次のとおり報告する。

平成30年8月24日

小郡市長 加地良光

平成29年度小郡市工業団地整備事業特別会計決算に係る主要施策を報告するにあたり、その概要を説明いたします。

本市は、これまでに干潟地区、上岩田地区の2箇所に工業団地26.8haを造成、分譲を行い、平成17年度に全区画完売しております。

本計画地である干潟地区は大分自動車道筑後小郡インターチェンジに近接し、主要地方道久留米・筑紫野線沿線に位置しており、また、高速道路のクロスポイントである鳥栖ジャンクションまで約5kmと広域交通利便性にも優れており、立地条件において高い評価が期待できます。

企業誘致は、自主財源の確保、地元雇用の促進などの地域活性化に大きく貢献し、本市においても第5次総合振興計画後期基本計画等で企業誘致の促進を目標に掲げております。

このような理由から企業の立地環境の条件整備のため、平成28年度に完成しました3.26haの干潟第2工業団地は平成29年度に全て分譲いたしました。

平成29年度の歳入歳出決算額は、下記のとおりです。

歳入決算額	639,212千円
歳出決算額	592,732千円
歳入歳出差引額	46,480千円
翌年度に繰越すべき財源	0千円
実質収支額	46,480千円

歳入総額は639,212千円で、財産収入となっております。

歳出総額は592,732千円で、公債費が498,206千円、事業費が1,207千円、繰出金が93,319千円となっております。

1. 歳入歳出決算の状況

(歳入)

(歳出)

(単位：千円、%)

科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
1 財産収入	639,212	100.00	1 公債費	498,206	84.05
			3 事業費	1,207	0.20
			4 繰出金	93,319	15.75
歳入合計	639,212	100.00	歳出合計	592,732	100.00

2. 地方債現在高の状況

(単位：千円、%)

	平成28年度末現在高	平成29年度中の異動				平成29年度末現在高
		発行額	償還額			
			元金	利子	計	
地域開発事業債	497,888	0	497,888	318	498,206	0

3. 歳出の内訳

3款 事業費 1項 事業費

(単位：千円)

工業団地整備事業		商工・企業立地課			
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,207				1,207	
<p>【施策の目的】 新たな雇用の創出や自主財源の確保、地域活性化を目的として、交通利便性を活かし、工業用地の需要に対応するために工業団地の整備を行うもの。</p> <p>【施策の実施】 ・干潟第2工業団地 宅地1-Aの分筆委託</p> <p>【施策額の内訳】 ・干潟第2工業団地分筆委託料 1,207 千円</p> <p>【施策の効果】 干潟第2工業団地において、宅地1-Bを1社へ分譲し、宅地1-Aについては、2区画に分筆し2社へ分譲を行った。これにより、計3区画全ての分譲が完了し、分譲に伴う自主財源の確保及び事業の推進につながった。</p>					